

狭山丘陵へ巡検に行きました

GCN通信第7号(前号)で詳しく報告しましたように、GCNは、狭山丘陵にある4つの都立公園を管理する西武・狭山丘陵パートナーズの一員として、GISによる自然環境情報の整備と活用を検討、それに基づく管理への提案を受け持っています。

4月30日に、東京学芸大学の地生態学の研究グループの皆さんとともに、小泉理事長引率、井本副理事長案内で、狭山丘陵へ巡検に行きました。JR八高線箱根ヶ崎駅前に、GCN会員・学芸大学の学生院生・一般社会人など26名が集まり、都立野山北・六道山公園の東北部の樹林を中心に植物調査をしました。カタクリ、カンアオイ、ホオノキ、モミなどのこの地区では比較的貴重な植物の存在を確認しました。

標高の最も高い六道山の山頂付近は、瑞穂町立六道山公園として整備されており、桜を植えた原っぱや運動場、そして山頂には場違いにも思える西洋の砦を模した立派な展望台ができていました。自然の保全や活用に対する考え方の相違により、同じ公園でも全く異なるものになることも学びました。運動場造成のためにできた崖は、1億年前の放散虫の堆積により生成されたチャート観察の絶好の露頭を提供しており、その硬い岩をハンマーで割り内部の縞模様を観察しました。

帰りは宮野入谷戸に下り、里山や田んぼの自然と保全について説明を聞き、ふれあいの中心になっている里山民家でくつろぎました。さらに同じパートナーズのメンバーであるNPOパースの佐藤留美さんから、公園の管理運営について苦労話を聞き、焼き竹の子や煮付けのご馳走にもなり、充実した一日の締めくくりとなりました。

GCNでは植生の調査方法の指導や情報整備など、これからもこの地区の都民活動をサポートしていきます。また狭山丘陵の情報整備も少しずつですが進んでおります。今後も皆さまのご協力をお願いします。

以下に、この巡検に参加された東京学芸大学3年の仲尾剛さんの感想文を掲載します。(淀川正進)

狭山丘陵巡検に参加して

私は、今回の狭山丘陵巡検は、用事があったため午前しか参加できなかった。だが、その短い時間の中でも多くのことを学ぶことができた。午前中は、狭山丘陵の端にある小さな山の中を歩くのが主だったのだが、その最中いろいろな植物の名前・特徴を、講師の方や、一緒に参加した社会人の方に教えていただいた。

いくつか教えていただいたことを挙げてみる。ミズキは丸い葉、横に水平に伸びる枝が特徴的だ。また、年を取っても、あまり太くならない。シロダモの葉は、クスノキと同じ三行脈を持つ。モミの若木の葉は、2本に分かれてとがる。教えていただいた中で、特に印象に残ったのはカンアオイだった。カンアオイの花は、地面すれすれの目立たないところに咲き、見た目は地味で気持ち悪い感じがして、あまり花とは思えなかった。

私は植物の見分け方に関してあまり知識がなく、今回の巡検で教えていただいた植物はどれも基本的なもののばかりだったので、とても勉強になった。そして、今まで以上に植物に興味を持つようになり、植物の見分け方を学ぶのを楽しんでいる。今回の巡検を企画してくださった、地域自然情報ネットワークの皆様へ、心からお礼を申し上げます。(東京学芸大学3年 仲尾剛)



カントウカンアオイ
真ん中の葉陰に花が咲く



林の中で植物調査



オトコヨゾメ
白いかわいい花を咲かせる



チャートの説明を聞く



里山の自然と保全の話聞く



田んぼに入って谷戸の説明をする小泉先生



里山民家の中で佐藤留美さんから苦労話を聞く

東京環境工科学園で自然環境GIS講義をしています

地域自然情報ネットワークでは、学校法人東京環境工科学園東京環境工科専門学校（以下、環境工科学園）のカリキュラムの一環として、自然環境分野のGIS講義を受け持っています。環境工科学園は日本では数少ない野生生物や自然環境保全のプロフェッショナルを育成する目的の学校法人で、講義のほか野外実習や実践にも重きを置いているユニークな学校です。講師には有名な千石正一さん、総実習場長はC. W. ニコルさんが就かれています。

環境工科学園の在学生の多くは動植物や生態系の基礎知識を学習するとともにフィールドワークをこなし、将来は自然環境調査やインタープリター、環境コンサルタントなどへの就職をめざしています。その際、とても大切なことのひとつは、フィールドで調査し考えたことをいかに情報として他の人に伝えていけるかという力です。動植物の分布やその傾向、どこを守るべきなのか、どんな手順が効果的なのか、それができなければ、せっかくのデータは個人の単なる宝物になってしまうかも知れません。そこで、そんなことを机上で支援するツールとしてGISの使い方をしっかり覚えてもらおうと、講義を企画したものです。

GIS講義は環境分野では最も利用している人が多いArcGISシリーズのArcViewを使って行います。まず一学年目には、GISの基本的な仕組みやコマンド、操作方法を学びます（ESRI ジャパンさんが担当）。そして二学年目に応用編として自然環境や動植物の保全に特化したGISの使い方や解析手法を勉強します。この授業をGCNが担当しているのです。

授業では、ラスターデータ、ベクターデータの違いから、DEMの扱い方、植生図の作り方、作られ方そして使い方、ラスター演算によるGIS解析の基礎などをオンザジョブトレーニングで学びます。授業の総仕上げでは、何人かずつの班に分かれて、ある重要種の生息生育ポテンシャルを推定して地図にするという一連の作業をこなします。毎年、モデルづくりやデータの加工方法などに講師陣顔負けのいろいろなアイデアが続出し、最後の発表では、自分たちで得た動植物のデータと地形、植生などの既存データを生かして、どんなふうに分布が推定でき、どんな場所を保全すべきなのかをGISマップをもとにリアルに表現してくれます。

こんなふうにGISを単なるデータベースやきれいな地図を作るだけでなく、生き物や自然を考えるツールとして生かしていける次代の人材の育成にGCNでは今後も力を入れたいと考えています。（増澤直）

講師をつとめての雑感

今年度も、4月14, 15日、28, 29日の4日間にわたり環境工科学園における学生向けのGIS講習会が行なわれました。私も導入部の二コマと地図レイアウトとスペーシャルアナリストの使い方の二コマ合計四コマをお手伝いさせていただきました。例年に比べて若干学生さんの参加が少なかったのですが、学園の学生さんがアースデイのイベントに参加されていて、その準備でGIS講習に応募しなかった方が多かったと聞いており、講習会が不評のためではないようでした。

学生さんからの評判を直接聞いているわけではないのですが、人づて（実は工科学園の学生さんをアルバイトに使っております）に聞くと概ね好評のようでした。しかし、初級のGIS講習会（ESRIが実施しているもの）を受けていない人が何人かおり、そのような場合はなかなか講習会の内容が理解できなかったり、実習の操作で躓いたりという場合も見られたようです。

私が担当した導入部の二コマも学生さんの興味をひきつけた事業内容にするのに工夫が必要だと思われました。特に二コマ目のモデリングについては口頭で説明するだけではなく、学生さんに考えさせたり、グループでディスカッションしたりなどの興味をひきつける（ざっくばらんに言うとなんか眠らせない!!!）工夫が必要だと痛切に感じました。私が学生ならば完全に居眠りをしてしまうような内容です。

新しい講義のアイデアとしていくつか考えています。野外の実習などと組み合わせてGISでデータを作る講義、GPSなどの連携方法についての講義などです。学生さんの中には実習や課題などでGISを使いたいという潜在的な希望を持った人もいます。このような人材をそのまま埋もれさせるのはもったいないと思

います。このような要望にできれば講習会の枠を超えてサポートしてあげたいものです。（平城尚史）



平城講師の話熱心に聞く受講生たち

東京環境工科学園 自然環境GIS講義プログラム

日付	講師	アシスタント	講義テーマ	日付	講師	アシスタント	講義テーマ
4月14日	平城尚史	山田	自然環境とGIS	4月28日	井本郁子	高橋・梶並	植生図を使う ジオプロセッシング入門
	平城尚史	山田	自然環境と空間解析 モデリング手法		井本郁子	高橋・梶並	植生図を使う ジオプロセッシング入門
	杉村 尚	山田・櫻井	自然環境のデータの種類と取得方法		平城尚史	高橋・梶並	地図レイアウト作成の基礎
	杉村 尚	山田・櫻井	既成の自然環境データの利用		平城尚史	高橋・梶並	スペーシャルアナリスト入門 実習
4月15日	松林健一	山田・櫻井	ジオリファレンス実習	4月29日	増澤 直	古山・伊勢	DEMを使って解析してみよう
	松林健一	山田・櫻井	ジオリファレンス実習		増澤 直	古山・伊勢	ポテンシャルマップ作成 実例
	松林健一	山田・櫻井	データ作成演習 ポリゴンデータ作成		増澤 直	古山・伊勢	ポテンシャルマップ作成 実習
	松林健一	山田・櫻井	データ作成演習 ポリゴンデータ作成		増澤 直	古山・伊勢	ポテンシャルマップ作成 実習

編集後記

第4回通常総会が、終了し、GCNも文字通り第5期に入りました。広報の一層の整備に向けて、このニュースレターも充実させて行きたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。（淀川）

編集・発行

NPO法人地域自然情報ネットワーク 事務局

〒162-0812 新宿区西五軒町5-14 早川ビル402

TEL/FAX 03-3260-3795

URL <http://www.boreas.dti.ne.jp/~kent/GCN/>

Mai GCN-office@gea-eco.net